

公益社団法人 日本地すべり学会東北支部 平成 28 年度シンポジウム

「積雪・融雪と地すべりーその不思議な挙動の解明と危険度予測を目指してー」

【趣旨】

地すべり発生の誘因は豪雨、融雪、地震など多種にわたるが、積雪地域、とりわけ東北地方においては気象条件から積雪期～融雪期にかけて発生する地すべりが多い。しかしながら、その活動形態は積雪初期に活動する地すべりがあるほか、厳冬期や融雪後に活動するものなど多様であり、前駆的な降雨や雪荷重、あるいは融雪水の地下浸透量など様々な要因が単独、または相互に関連して発生していると考えられ、一概に誘因を特定できない場合が多々ある。その挙動の解明はいまだ途上にあるものの、様々な視点のもとでの研究や観測事例から積雪期における活動形態に対する新たな知見が得られ、積雪期の地すべり活動における危険度評価に対する取組みもなされてきている。

シンポジウムでは地すべりの根源的な誘因である地下水と積雪、融雪に着目した報告事例から、積雪地域特有の地すべり特性や誘因となる「雪と地下水」の関連性について議論し、地すべり挙動の解明と危険度予測に向けた技術獲得を目的に開催する。

【キーワード】

積雪・融雪 地すべり活動形態 地下水 温度 危険度評価

【開催概要】

日 時：平成 28 年 4 月 25 日(月) 14：40～17：30

場 所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

参加費：1,000 円/人

【講演目次】

- 基調講演 「季節積雪層と斜面変動の相互作用を考える」
松浦純生氏(京都大学防災研究所教授 地盤災害研究部門)
- 講演 「新潟県の地すべりの積雪期における運動特性」
ー地すべりの運動は本当に融雪水の地中浸透と関係しているのか？
佐藤壽則氏(株式会社 日さく)
「寒候期に地すべり面の力学特性に影響を及ぼす諸要因」
柴崎達也氏(国土防災技術株式会社)
「融雪浸透モデルとタンクモデルを組み合わせた融雪期の地下水位予測」
岡本 隆氏(森林総合研究所東北支所)
「(仮題)積雪から融雪時期の浸透水と地下水位の関係事例」
細谷健介氏(新和設計株式会社)
- その他、数件の事例紹介を予定
- 総合討論 司会(コーディネーター)：岡本 隆氏 渡辺 修氏